

## 都市農村交流推進センター発足 当社社長が理事に就任



都市と農村の交流を促そうと、NPO法人の「都市農村交流推進センター」（東京都文京区、理事長・鮫島宗明帝京平成大学教授）が先ごろ発足し、5月23日に第1回の総会が開かれました。当社の蒲生幹雄社長も同センターのリード役の1人として理事に就任しました。



懇談中の鮫島氏(右)と蒲生(左)

同センターは、都市住民の参加による農山漁村の活性化を図ることを目的としており、農山漁村の自然・文化・

一次産物などの豊富な資源を利用し、都市と農村の体験交流、二地域居住、農村定住、子どもの体験学習など、多様な都市農村交流推進事業を行っています。

鮫島宗明氏は、民主党の前衆議院議員で、「次の内閣」の農林水産大臣も務めた農業・農村問題のスペシャリストです。

当社は、日本の人工林の多くを占めるスギ・ヒノキの未利用資源である樹皮を活用した土壌改良材のメーカーとして、わが国農山漁村の活性化に関心を抱き続けて参りました。今後は同センターの活動を通じ、都市と農村の交流促進に一層役立ちたいと考えています。

## 「みどりの都 東京」当社役員之歌披露



東京都は、大都市東京を緑あふれる街に再生する取り組みの一環として、5月4日のみどりの日に、上野恩賜公園で、「みどりの都 東京」イベントを開催しました。

「東京の緑のいま」写真展表彰式、来場者参加型のクイズショー、アマチュアバンドによるアコースティック・コンサートなど盛り沢山の内容。当

社の東尾実役員が作詞した、芝生の校庭の楽しさをテーマにした歌も披露され、集まった聴衆の喝采を浴びました。



### 【本誌創刊のごあいさつ】

私たちは、JGS-CCクレイ・グリーンなど、当社製品の魅力と事業の内容をより多くの皆様にご理解いただくため、本紙を創刊いたします。当社のビジネスだけでなく、循環型社会の実現に向けた各界の取り組みも積極的にご紹介するなど、意義ある紙面づくりに努力して参る所存です。本誌のご愛読を賜りますようお願いを申し上げます。

2008年6月 (株)ジャパングリーンシステム



(株)ジャパングリーンシステム [www.jgsc.com](http://www.jgsc.com) JGSCC 検索

【東京本社】  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-7-1 平和ビル702号  
tel : 03-5776-1451 fax : 03-3435-7075  
e-mail : info@jgsc.com

【福岡支社】  
〒813-0002 福岡県福岡市東区下原2-9-1  
tel : 092-663-4510 fax : 092-663-4510

## おおいた国体馬術場で採用 優しい弾力性に「最高の馬場」と評判



「今回の馬場は最高の出来です」――。

今年9月27日、大分県を中心に開催される第63回国民体育大会「チャレンジ!おおいた国体」で、馬術競技の会場となる「豊後大野市三重総合グラウンド特設馬術場」の設置工事に、当社の循環型有機土壌改良材、JGS-CCクレイと同グリーンが使われました。

「特設馬術場」は、同グラウンドの野球場を整地して仮設したのですが、馬術競技を主管する市国体推進課理事の神志那静清さん(58)は、「選手も馬も喜ぶ馬場をつくりたい」と、馬の脚への負担が少ない弾力性のある地面にこだわりました。通常、仮設の馬術場は砂やプラスチック製の排水マットなどを敷いて整地しますが、地面が固くなる欠点があるそうです。

神志那さんらは、県内中学校のグラウンドの造成工事で、地元大分県の日田スギの樹皮を原料と



する当社製品が使われたことを知り、現場で確かめたところ、十分な弾力性があることが分かりました。「特設馬術場」の整地では、山砂の一種である真砂土(まさど)に当社製品を3~4割混ぜたところ、理想的な弾力性が実現できました。

神志那さんは、「今回の馬場は最高の出来です。国体に参加した馬術の選手に『大分でやってよかった』と思ってもらえれば嬉しいです」と話しています。「特設馬術場」では、国体本番に先立ち馬術競技などが行なわれましたが、馬術の上級者からは「走り心地が良い」という声が挙がるなど、評判は上々だということです。



## ❖ 工期短縮と費用節約を実現

野球場復元前提の芝草舗装材 — おおいた国体馬術場



「チャレンジ！おおいた国体」の「豊後大野市三重総合グラウンド特設馬術場」は、当社の循環型有機質土壌改良資材、JGS-CCクレイと同グリーンが使われたことで、大幅な工期短縮と費用節約が実現しました。

当社のJGS-CCは、日本の人工林の多くを占めるスギ・ヒノキの樹皮が原料の「循環型有機質土壌改良資材」で、芝草舗装用の「グリーン」とクレイ舗装用の「クレイ」の2種類があります。

「特設馬術場」は、野球場を馬術競技用に整備したもので、国体終了後は元に戻されることになっています。このため、外野部分は将来天然芝が植えられることを前提に「グリーン」、内野部分は黒土舗装されるため「クレイ」がそれぞれ採用されました。

同市の野球愛好家らは、国体終了後の野球場の

再開を心待ちにしています。当社の資材を使った工法だと、馬術用に敷かれた砂を取り除いた後、展圧すれば内野部分はそのまま使え、外野部分はすぐに芝生が植えられます。「排水マット」の運び出しや、土の搬入などが不要のため、短期間での復元が可能になりました。また、これまでの国体の仮設馬術場に比べ、設置や撤去に掛かる費用が大幅に節約できたということです。

大分県は、美しい自然と豊かな産物に恵まれたことから古来「豊の国」と呼ばれました。

同県での2回目の国体開催となる「チャレンジ！おおいた国体」は、「豊かなスポーツ文化の創造をめざすとともに、文化の薫り高い、ローカルにしてグローバルな豊の国づくりを推進する」ことを基本方針に、9月27日から10月7日まで、同県の各地と熊本県の一部で各種競技が行なわれます。



### ジャパングリーンシステム 製造／販売品目

- JGS-CCグリーン スポーツターフ・多目的芝広場等「循環型有機質土壌改良資材」(100%天然素材)
- JGS-CCクレイ クレイグラウンド・多目的広場等「循環型有機質土壌改良資材」(100%天然素材)
- JGS-CCマルチング 景観樹皮マルチング
- ピートメリア 屋上緑化・ガーデニング・プランター等「循環型有機質軽量土壌」(100%天然素材)
- スギ・ヒノキ樹皮リサイクル資材、その他環境緑化資材

## ❖ 降雨後もすぐに使えて大好評！

砂じんの苦情もゼロ — 金蘭千里高等学校・中学校



関西屈指の名門進学校である金蘭千里高等学校・中学校（大阪府吹田市）が、大阪府で最大の面積を誇るグラウンド（1万7330平方メートル）の2回にわたる改修工事で、当社の「JGS-CCクレイ工法」を採用したところ、雨が降った後もすぐに使える上、近隣住民からの砂じんに関する苦情がなくなると、生徒や教職員らに大好評です。



同校は1965年（昭和40年）、日本最初の大規模ニュータウンとしてオープン間もない「千里ニュータウン」北公園内に中高

一貫教育校として設立されました。周辺発展とともに、同校を取り巻くようにマンションが密集し始めると、砂じんに対する苦情が多く寄せられるようになったということです。

このため同校は1999年3月、「近隣マンション群に対する砂ぼこり対策」として、当社工法によるグラウンドの改修工事に着手しました。「JGS-CCクレイ」を現場の土に混ぜ込むと降雨後すぐにプレーなどができる他、表層土が飛散しにくくなるので土ぼこりの発生を抑える効果があります。

工事では、現地の土に対し当社の「JGS-CCクレイ」を30%混合しました。現地の発生土をそのまま再利用することや、土質によっては排水設



備や碎石基盤工事などがまったくいらぬのも当社工法の特徴で、施工コストを大幅に抑え、工期を短縮することができます。

同校は創立40周年の2005年にも、新校舎建設にともなうグラウンドの修復工事で再び当社の工法を採用しました。最初の施工から10年近い歳月が過ぎましたが、グラウンドは良好な状態を維持しているということです。長期間の使用に耐えるという当社工法の長所が実証されました。

